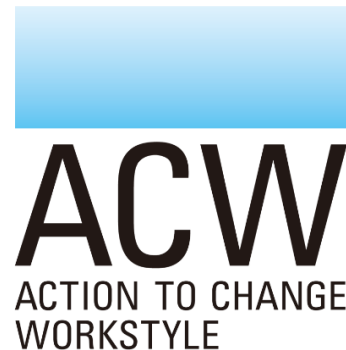




これからのオフィスづくり と 新しい働き方 に向けて

はたナビプロ ニューノーマル版 解決策提案シート

あんしんあんぜん③

感染拡大防止

「はたナビプロ ニューノーマル版（NN版）」の結果から、新しい働き方と“働きやすさ”を追求していきましょう

「はたナビプロ ニューノーマル版（NN版）」をご利用いただきありがとうございました。
先行きが不透明で、不確実性が高まる中、ワーカー1人ひとりの声からわかった課題やテーマを基に、改善～新しい働き方のご提案をさせていただきます。

テーマ

キーワード

効率性

効率性① 効率的な会議の仕方

時間を意識した会議、目的に応じたレイアウト変更

効率性② 効率的な社内コミュニケーション

タイムリーな報・連・相、気軽な打合せ

効率性③ 日々の業務の無駄削減

作業のムダ・書類探しのムダ削減

快適性

快適性① 誰もが気持ちよく働ける環境づくり

職種や業務に応じた働く環境づくり、モチベーションアップ

快適性② ONを活かすためのOFFの取り入れ方

リラックスできる、活用しやすいリフレッシュスペース

創造性

創造性① 個人の創造性を刺激する働き方

集中ワーク、深い思考ができる環境づくり

創造性② チームの創造性を促進する働き方

人と情報の交流、偶発的なコミュニケーション

ABW

ABW 働く場所や時間を選べる働き方

「場」「ツール・IT」「運用ルール」視点で働きやすさ追求

あんしん あんぜん

あんしん・あんぜん① 防災

「4S」視点で見直し

あんしん・あんぜん② セキュリティ

物理的セキュリティと技術的セキュリティ

あんしん・あんぜん③ 感染拡大防止

感染拡大を防ぐ基本指針

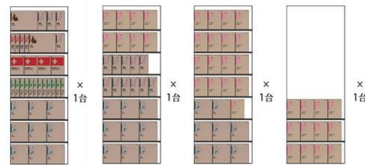
ワーカーがより「あんしん・あんぜん」（安心・安全）に働ける、事業継続の基盤となる3つの要素

近年では働き方の多様化と新型コロナウイルス感染対策に伴い、事業継続の基盤として「あんしん・あんぜん」の見直しが望まれています。

こちらでは、「あんしん・あんぜん」の課題を改善に導くキーワードを押さえましょう。

防災

「4S」視点で防災用品の見直し



収納効率高め管理しやすく、見える化

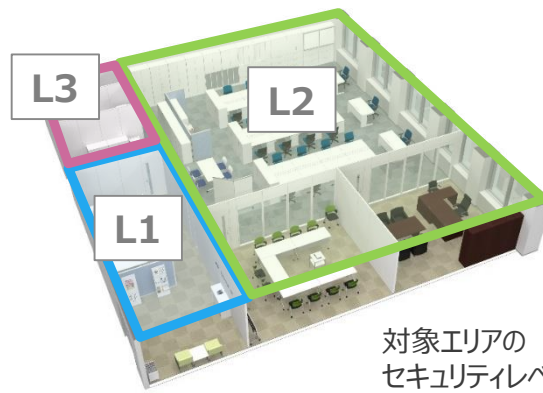


体験する

- **Selection**
備蓄品の選定やラインナップ、数量基準
- **Space & Location**
利用しやすく、効率的なスペースと配置
- **System**
持続可能な管理運用の仕方
- **Self-knowledge**
ワーカー及び会社全体の防災意識の向上

セキュリティ

4つの対策でセキュリティ向上

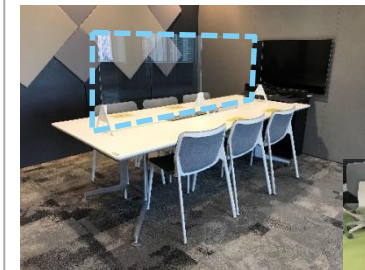


対象エリアの
セキュリティレベル分け

- **組織的対策**
基本方針や管理規程などルール策定
- **物理的対策**
エリアのセキュリティ区分やアクセス制限
- **技術的対策**
ネットワークやシステム、情報機器の対策
- **人的対策**
従業員の教育・管理

感染拡大防止

感染拡大を防ぐ基本指針



アクリルパネルの設置など



座席間の距離確保など

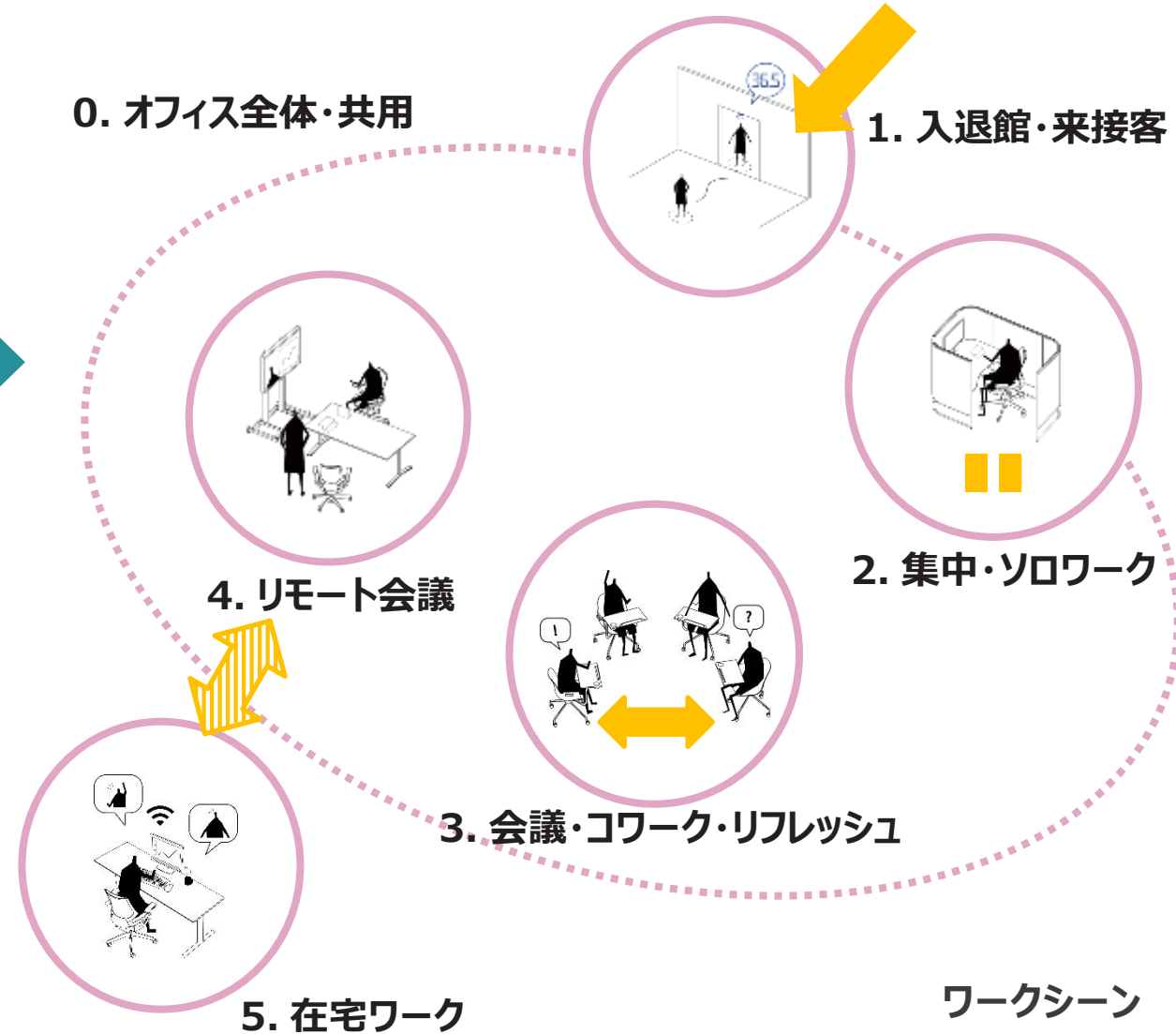
- **距離** 座席間の距離確保
- **密度** 1人当たりのワークスペースを広く設定
- **換気** 換気量確保や窓の開放、空気清浄
- **衛生** 消毒による衛生環境確保
- **非接触** 共用エリア・共用物の利用を非接触に、
遮断 アクリルパネルなどによる飛沫拡散防止
- **動線** 通路幅の確保、対面を避ける通行ルール

オフィスの感染拡大防止対策のために、5つの基本指針×ワークシーンで考えましょう

5つの基本指針の考え方をバランスよく採用し、安心安全を確保しつつ、オフィスの本来機能を高めていきましょう



- | | |
|-----------------|--------------------------------------|
| ● 距離 | 座席間の距離確保 |
| ● 密度 | 1人当たりのワークスペースを広く設定 |
| ● 換気・衛生 | 換気量確保や窓の開放、空気清浄、消毒による衛生環境確保 |
| ● 非接触・遮断 | 共用エリア・共用物の利用を非接触に、アクリルパネルなどによる飛沫拡散防止 |
| ● 動線 | 通路幅の確保、対面を避ける通行ルール |

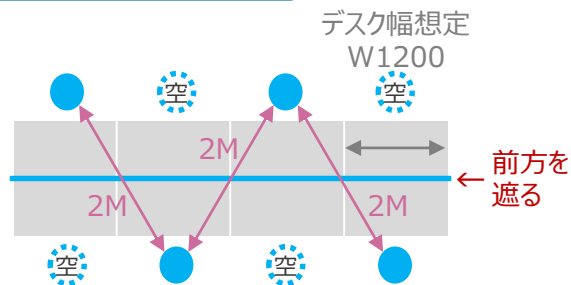


安心・安全を確保しながらオフィス運用の回復をするために、密集・密接対策をレイアウトで工夫することがポイントです。

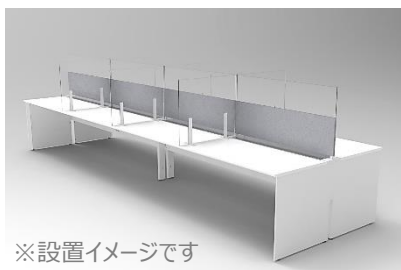
座席レイアウトで密集・密接対策を

- ・距離を取るため、1人の従業員から見て前後左右に人がいない座席配置に
- ・十分な距離の確保ができない場合は、パネルによる遮蔽を
- ・フリーアドレスの場合、可能な限り終日同じ場所で執務する運用に
- ・会議室や共用スペースの転用も視野に入れ、距離の確保を検討へ

座席レイアウト基本例

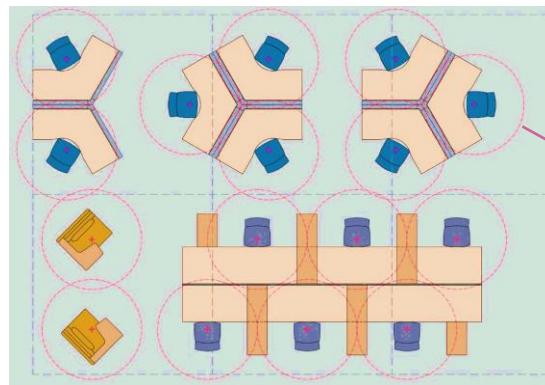


アクリルパネル



座席レイアウト応用例

- ・対面を避けて安全を確保した上でコミュニティ形成やパフォーマンス向上を考慮したレイアウトに
- ・座席の周囲など距離を注意喚起するためカーペットを貼り分けて可視化へ



窓面の活用・座る向きで工夫で集中ワーク



距離を取れば、着席可能な座席数は減りますが、

- ①窓面の活用
 - ②対面にならないよう座る向きを工夫する
- ・・・などしてより集中して作業し、業務効率化を高めることができます。

オンライン活用場のづくり



さらに集中作業を支援するツールにより音に配慮した上で、オンラインMTGも実施可能に

スクリーンブース

コクヨ インフレーム inframe



注意喚起サインの設置

これまでのルールを変更したことをわかりやすく掲示してワーカーへ啓発

・使用禁止席



・使用ルール可視化



・利用後の備品や設備の拭き取りなど



長時間の「密閉」「密集」がしやすい「会議室」を含めたコミュニケーションエリアは運用とあわせての対策が有効です。

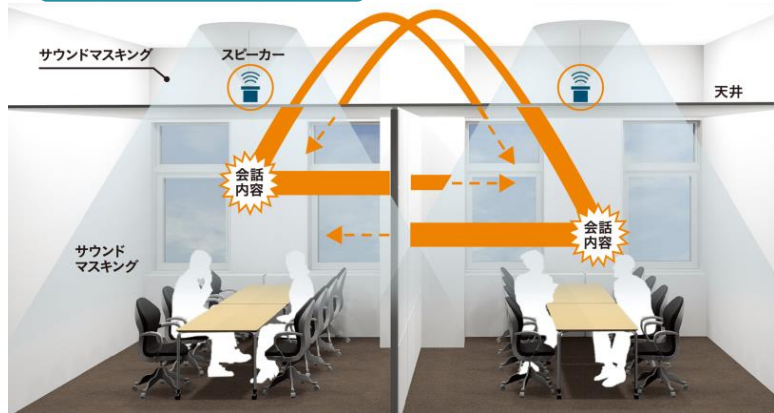
できるだけオープンな空間に

- 密閉された会議室は、換気が保たれるようにしましょう
(ランマオープン化、常時扉を開けておく 等)



- オープン化による音漏れが気になる場合はサウンドマスキングが効果的です

サウンドマスキングシステム コクヨ SOUND MASKING



天井内に隠されたスピーカーから均一にマスキングサウンド（会話をカバーする成分をもつ特殊音）を室内に流し、音漏れや雑音を聞こえにくくします

着席レイアウトやツールの工夫

- 対人距離を確保しつつ真正面に人が座らないような工夫が必要です
- ミーティングの内容や人数の増減に応じたレイアウトを柔軟に設定できます

例) 軽快な操作性を備えたキャスター付テーブル



1人用テーブル
コクヨ リーフラインS
Leafline/S



例) メモ台付キャスターチェア



多機能チェア
コクヨ オールインワン
All in One



物理的な対応と運用の両面から3密対策をとる

密集対策（距離・密度・遮断）

- ① 利用人数ルールの設定
- ② 距離を開けて着席
 - ・座席の間引き
 - ・アクリルパネルの設置
- ③ 狭い会議室は、用途転換も検討
(例：少人数のオンラインMTG用)

座席の間引き



アクリルパネルの設置



密閉対策（換気）

- ① ドアの常開、換気の促進 (例：1時間に10分、できればこまめに)
- ② 使用時間ルールの設定 (例：1会議の上限60分)
※個室の場合、常に空気の換気・循環を意識し、窓が開けられない場合はサーキュレーターや空気清浄機を活用します

注意喚起サインの設置

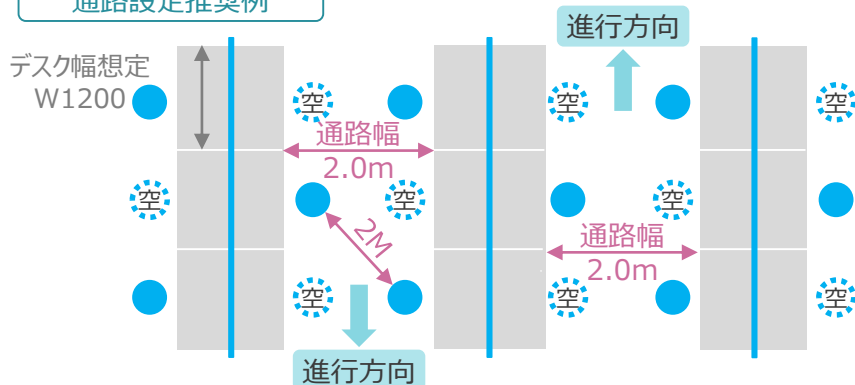


オフィス内の移動における動線や、共用書類活用に伴う接触対策にも目を向けましょう

オフィス内の移動

- 通路幅を広めに確保し、対面を減らすためできるだけ一方通行に

通路設定推奨例

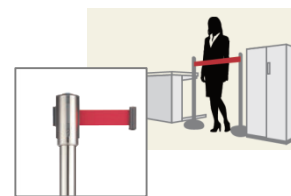


- 対面通行の場合
カーペットの貼り分けなどで可視化へ



ベルトパーティション

スクリーン



コクヨ パーティションスタンド

コクヨ マニット
Manitto

書類整理・書類削減

- コロナ対策をひとつのきっかけにして、既存書類の削減・整理・分類を検討しましょう。スペース効率も上がるだけでなく、共有物の接触対策になります

ストック書類 (必要に応じ参照する共有書類)

- 捨てる
 - 未対策オフィスなら40%削減可
- 逃がす
 - 外部倉庫の活用
 - 電子化できないかも検討
- カラー分類、タイトル付け
 - 見た目で誰もが探しやすく、戻しやすい
 - 余計な接触機会を減らす
 - 維持管理しやすい



コクヨ NEOSシリーズ

フロー書類 (作業中の個人書類)

- 見出しを書く
 - クリヤーホルダーが見出し付きなので探しやすい
- ファイルボックスを立てる
 - 探しやすく、省スペース
- 捨てるルール
 - 使った書類は左に戻し、右にたまった(使わない)書類は捨てるルールで増やさない



コクヨ KaTaSuシリーズ

パーソナルロッカー



共有収納から
より非接触な形で
個人収納運用へ

コクヨ イン
iNON

パーソナルロッカーへの
収納イメージ

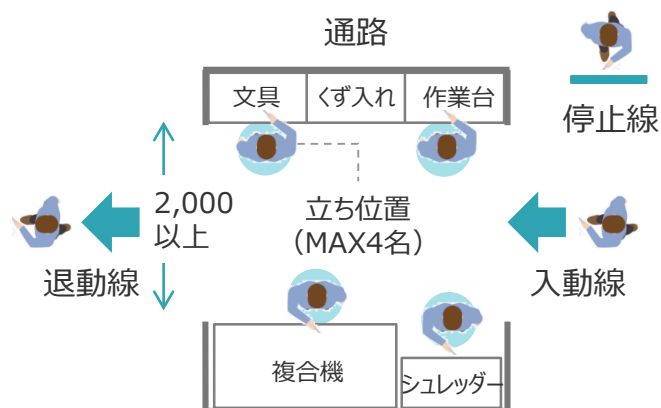


共用における「いつでも誰でもわかりやすい、使いやすい」はそのままに、「安心・安全・清潔に利用できる」仕掛けを。

共用利用エリアは密集が起こりやすい場に・・・「共用物品/設備」を洗い出し、とるべき対策についてチェックが必要です。

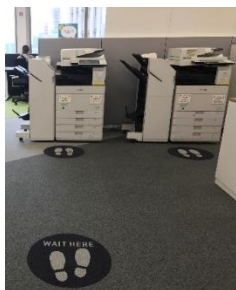
コピーコーナーの密集対策例

- 通路幅の確保、一方通行運用
- 立ち位置、定員数を決める

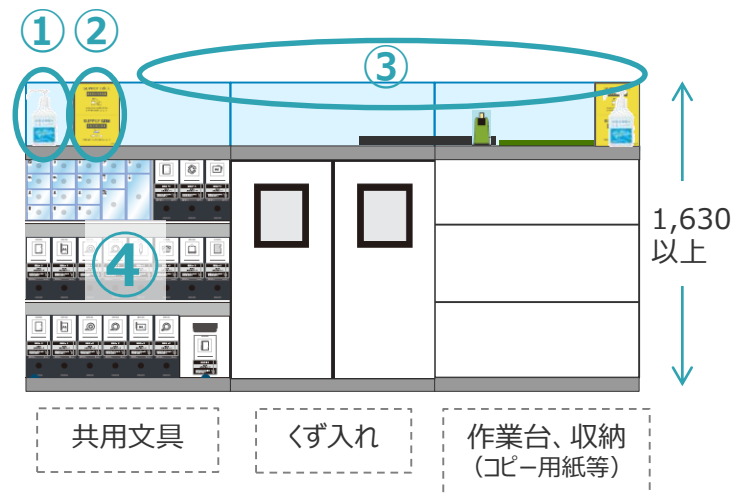


カーペットサイン

自然に対人距離を保てるよう、立ち位置を示すサインを設置



共有物品コーナーの密接対策例



①手指消毒液

カウネット
受付にちょうどいい手指消毒液
4241-6456



④サブライドック

社員様の利便性に加え、総務様の手間、スペース、購買コスト削減を実現する消耗品管理のしくみです

↓ 詳細はこちら



②利用前後に手指消毒を促すサイン

③通路前にパネル設置

通路との接触を避ける

（ 近日中にコンテンツ追加予定です ）